

【胃がんホットライン】のお知らせ

国立病院機構仙台医療センター 消化器内科

当院の胃がん治療について

内視鏡的な画像診断・治療手技の発達に伴い、リンパ節転移の可能性が極めて低い早期胃がん病変に対してはESD※(内視鏡的粘膜下層剥離術)を第一選択として治療を行っております。※Endoscopic Submucosal Dissection

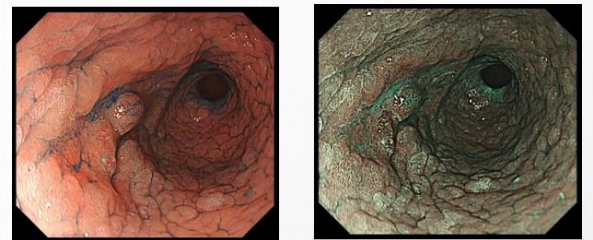
ESDとは…

適応	粘膜に留まる浅い深達度の早期胃がん (リンパ節も含めた転移の可能性がないもの)
治療時間	平均約1時間程度 (鎮静剤を使用して行います)
入院期間	約1週間程度
利点	胃を温存可能で低侵襲
限界	リンパ節などの転移リスクがある場合は外科手術に
合併症	出血・穿孔など (手技や治療具の発達により減少傾向)

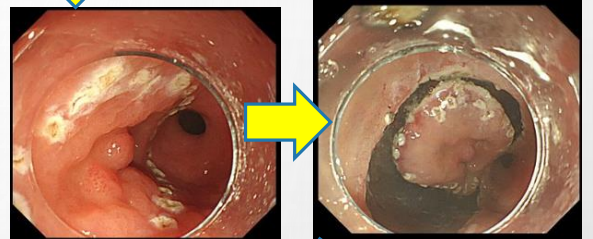


当院医師によるESD術中の様子

ESD手順

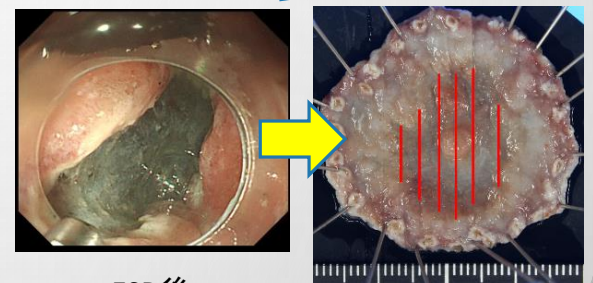


前庭部前壁の早期胃がん
(O - IIc)



周囲マーキング後

全周切開後



ESD後

切除標本

28 × 20mm tub1, m

早期胃がんに限らず、当院では治療方針に関して検討が必要な場合は消化器内科・消化器外科・腫瘍内科・放射線科(放射線治療)・病理診断科など複数診療科の医師でカンサーボードを行い治療法の選択を行っております。

胃がんは、早期の段階で見つければ侵襲の少ない内視鏡治療が適応になります。諸先生方におかれましては、胃がん検診などで異常が見つかった際はいつでもご相談下さい。

消化器内科
上部消化管専門医師



荒 誠之

高橋 靖

【胃がんホットライン(疑い含む)(平日・月～金 8:30～17:00)】

連絡先: TEL: 090-9133-9387 FAX: 022-293-0709

- ・電話は予約センターにつながります。
- ・FAXは専用フォームで申し込みください。
- ・「胃がん」治療の予約が即可能です。
- ・専門医師に直接ご相談の場合は、申し出ください。